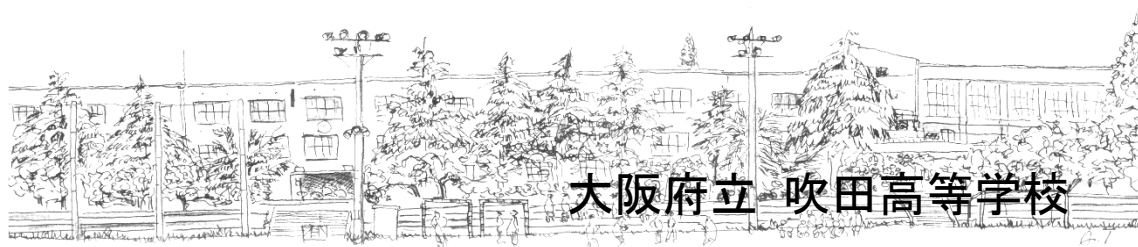


平成31年度

シラバス (年間授業計画)

— 芸術 —

高



大阪府立吹田高等学校

平成31年度 芸術科

教科	芸術	科目	音楽 I	単位数	2 単位	年次	1 年次
使用教科書	「音楽 I 改訂版 Tutti」 (教育出版)						
副教材等	「The Basics of Music」 (教育芸術社) 「アルトリコーダー・テキスト」 (自主教材)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- 「歌うこと」「楽器を演奏すること」「音楽を聴くこと」の3つの分野を年間通して学習します。
- 学習の到達度は、実技テストやワークシートで評価します。
- 音楽の学習は、何よりもまず「進んで取り組もう」という姿勢を持つことが大切です。熱心に取り組む、練習を重ねた演奏は、上手・下手を超えたところで聞く人の心を打ちます。「心に届く演奏」が出来たとき、演奏者の心にも深い充実感が生まれます。この充実感は、合唱や合奏で美しいハーモニーを体感できたときにも訪れます。「音楽をする喜び」とはこの充実感を感じることに他なりません。多くの皆さんにこの充実感を味わってほしいと思います。

2 学習の到達目標

幅広い音楽活動を通して音楽を愛好する心情を育むとともに、古今の名曲に触れる機会を多く作り、音楽文化についての理解を深める。
音楽的な感性を高めるとともに、合唱、器楽アンサンブルなどを通して互いの存在を意識しながら表現をしていく能力を身につける。

3 学習評価 (評価規準と評価方法)

観 点	a:音楽への 関心・意欲・態度	b:音楽表現の 創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	音楽や音楽文化に関心を持ち、歌唱、器楽創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについての表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身につけ、創造的に表している。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評 価 方 法	観察 ワークシート	観察 ワークシート	演奏の聴取	観察 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期	声に出して歌おう・高校音楽のスタート	【歌唱】 校歌 今、咲き誇る花たちよ 少年時代 世界に一つだけの花	○	○	○		a:歌う喜びを感じ、主体的に歌の学習に取り組もうとする。 b:リズム、メロディ、強弱などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、音楽表現を工夫している。 c:歌詞の内容と曲想を関わらせて表現するために必要な歌唱の技術を身につけている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	リコーダーに親しもう	【器楽】 バロック・ホウダウン メヌエット 雪のおどり	○	○	○		a:リコーダーの基礎的な奏法を身につけて、それらを生かして演奏することに関心を持ち、主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形作っている要素を知覚し、それらの組み合わせが生み出す効果を感じて演奏している。 c:レガート奏法(スラー)を身につけ、演奏に生かしている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	鑑賞のファースト・ステップ	【鑑賞(DVD鑑賞)】 バレエ「ボレロ」 (ジョルジュ・ドン、20世紀バレエ団、モーリス・ベジャール振り付け)	○			○	a:管弦楽で扱われる楽器の音色やリズムの特徴とその音楽的効果に関心をもって楽曲を聴こうとしている。 d:音楽と身体表現の関わり合いに関心を持ち、同時に優れた踊り手によって作り出される緊張感ある舞台の美しさを感じ取って鑑賞している。	観察 ワークシート
二学期	イタリア語の歌を歌おう	【歌唱】 Caro mio ben 我が太陽 (斉唱・言語)	○	○	○		a:イタリア古典歌曲成立の歴史的・文化的背景に関心を持ち、歌う学習に積極的に取り組む。 b:リズム、旋律、強弱などを知覚し、それらの関わりが生み出す雰囲気を感じながら、表現を工夫している。 c:表現したいことを伝える歌唱の技法を身につけている。	観察 ワークシート 演奏の聴取

	合唱の響きを求めて	【歌唱】 よるこびの歌(混声四部) (日本語・ドイツ語)	○	○	○	a:声を合わせる活動に関心を持ち、合唱の学習に主体的に取り組もうとしている。 b:旋律とハーモニーの関わりを知覚し、それらの働きを感受しながら音楽表現を工夫している。 c:歌詞の内容と曲想を関わらせて感じ取り、歌唱に必要な技能を身につけている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	リコーダーの技能を高め、アンサンブルを楽しもう	【器楽】 DekeDeke ポルカ(独奏) 世界の約束(アンサンブル)	○	○	○	a:新しい技術(ダブルタンギング)の習得に関心を持ち、積極的に練習に取り組む。グループ学習に積極的に取り組む。 b:曲中に使われている技術と曲想の関わりを知覚し、それらが作り出す演奏効果を受取る。グループ・アンサンブルの練習を通じて音楽表現を工夫する。 c:様々な表現を可能にするアーティキュレーションの技術を身につけている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	西洋音楽の歴史を知ろう	【鑑賞】 グレゴリオ聖歌「アレルヤ」 鳥の歌(ジャヌカン) トッカータとフーガニ短調(バッハ)	○		○	a:西洋音楽の歴史に関心を持ち、時代による音楽の変化を感じ取って鑑賞している。 d:それぞれの時代による音楽のスタイルの違いを知覚し、その時代の持つ雰囲気を受取る。その時代の持つ雰囲気を受取る。その時代の持つ雰囲気を受取る。その時代の持つ雰囲気を受取る。	観察 ワークシート
三学期	グループ・アンサンブルを楽しもう	【歌唱】 心の瞳(二部合唱) Sing(二部合唱) (グループ・アンサンブル)	○	○	○	a:仲間と声を合わせる活動に関心を持ち、自分たちで表現を工夫することに主体的に取り組んでいる。 b:メロディの流れにのり、言葉の乗せ方を工夫し、曲想を歌詞の内容に関わらせて表現しようとしている。 c:少人数のアンサンブルが美しく響くよう、各パートのバランスを考えながら歌う技術を身につけている。	観察 ワークシート 演奏の聴取

平成31年度 芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	「音楽Ⅱ 改訂版 Tutti」 (教育出版)						
副教材等	The Basics of Music (教育芸術社)、ギターテキスト (自主教材)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- 「歌うこと」「楽器を演奏すること」「音楽を聴くこと」の3つの分野を年間通して学習します。
- 学習の到達度は、実技テストやワークシートで評価します。
- 音楽の学習は、何よりもまず「進んで取り組もう」という姿勢を持つことが大切です。熱心に取り組む、練習を重ねた演奏は、上手・下手を超えたところで聞く人の心を打ちます。「心に届く演奏」が出来たとき、演奏者の心にも深い充実感が生まれます。この充実感は、合唱や合奏で美しいハーモニーを体感できたときにも訪れます。「音楽をする喜び」とはこの充実感を感じることに他なりません。多くの皆さんにこの充実感を味わってほしいと思います。

2 学習の到達目標

幅広い音楽活動を通して音楽を愛好する心情を育むとともに、古今の名曲に触れる機会を多く作り、音楽文化についての理解を深める。
音楽的な感性を高めるとともに、合唱、器楽アンサンブルなどを通して互いの存在を意識しながら表現をしていく能力を身につける。

3 学習評価 (評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への 関心・意欲・態度	b:音楽表現の 創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	音楽や音楽文化に関心を持ち、歌唱、器楽創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについての表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身につけ、創造的に表している。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評 価 方 法	観察 ワークシート	観察 ワークシート	演奏の聴取	観察 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期	二部合唱の歌を歌おう	【歌唱】 瑠璃色の地球(二部合唱) 島唄(二部合唱)	○	○	○		a:二部合唱のハーモニーの美しさに関心を持ち、男声・女声の声の特質の違いによる演奏効果を生かして歌うことに主体的に取り組もうとしている。 b:メロディ、リズム、ハーモニー、強弱などを知覚し、その曲の持つ世界観をどのように表現するか、工夫している。 c:それぞれの曲にふさわしいイメージを持って音楽表現をするために、必要な声の技術を身につけている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	ギターを弾こう	【器楽】 ハ長調のスリーコード 「チョプスティック」	○		○		a:ギター演奏の新たな技術に関心を持ち、その習得と発展に主体的に取り組もうとしている。 c:C, G7, F (簡略形) のコードが弾けるようになり、メロディ、コードによる伴奏の両方が弾けるようになる。	観察 ワークシート 演奏の聴取
		【鑑賞】 無伴奏チェロ組曲第一番 ト短調 弦楽四重奏曲第 67 番 歌曲集「冬の旅」より	○			○	a:各時代における音楽の特徴とその時代の歴史的な背景に関心を持ち、鑑賞することに主体的に取り組んでいる。 d:その時代の文化的・歴史的な背景に思いをはせつつ、楽器の音色や声の持つ魅力を味わいながら聴いている。	観察 ワークシート
二学期	歌曲の世界	【歌唱】 Ich liebe dich(原語) 落葉松	○	○	○		a:歌詞の内容・曲想の関わりに関心を持ち、それらを生かして歌うことに主体的に取り組んでいる。 b:強弱、リズム、メロディの持つ特徴をつかみ、歌詞の内容を理解してどのように表現するか考えてながら歌っている。 c:ドイツ語、日本語それぞれの曲にふさわしい発音、声の出し方で歌うことが出来ている。	観察 ワークシート 演奏の聴取

	ギターのアンサンブルを楽しもう	【器楽】 Stand by me	○	○	○	<p>a:今まで学んできたギターの奏法に関心を持ち、個人の技術の向上に励むとともに、グループ学習を通じて一つの音楽を作り上げることに主体的に取り組んでいる。</p> <p>b:メロディ、コード、ベースラインの3部に分かれて構成されている楽曲の仕組みを理解し、どのように演奏するかについて表現意図を持って練習している。</p> <p>c:グループの一員として、アンサンブルとして完成させることが出来る技術を身につけている。</p>	観察 ワークシート 演奏の聴取
	日本の伝統音楽を聞こう	【鑑賞】 雅楽「越天楽」 箏曲「六段の調べ」	○			<p>a:我が国の伝統音楽に関心を持ち、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>d:音楽を形作っている要素を知覚し、西洋音楽との違いを感受しながら、伝統音楽に対する理解を深め、そのよさや美しさを味わって聴いている。</p>	観察 ワークシート
三学期	ハーモニーを味わおう	【歌唱】 「きみを乗せて」(混声四部合唱)	○	○	○	<p>a:曲想と歌詞の関わりに関心を持ち、四部合唱に主体的に取り組んでいる。</p> <p>b:メロディ、ハーモニーとリズムの関わり合いを知り、それぞれのパートの役割を理解しながら全体をまとめるにはどのように歌うかについて、明確な表現意図を持っている。</p> <p>c:混声四部合唱として作られた楽曲の世界観を表現するために必要な歌唱の技能を身につけ、クラス全員が協力し合って表現している。</p>	観察 ワークシート 演奏の聴取
	アンサンブルを楽しもう	【器楽】 海に見える町 (リコーダーとギター)	○	○	○	<p>a:リコーダーとギターの音色の融合に関心を持ち、それらを生かしたアンサンブルをする学習に主体的に取り組んでいる。</p> <p>b:音楽を形作っている要素を知り、それらの働きが生み出す雰囲気を感じながら、自分たちな</p>	観察 ワークシート 演奏の聴取

						りの表現を目指している。 c: 今までに学んだ技法を生かし、創造的に表現している。	
舞台芸術の世界	【鑑賞】 ミュージカル「キャッツ」 (DVD 鑑賞)	○				○ a: ミュージカルの特徴を理解し、その文化的・歴史的背景や作曲家に関心を持ち、鑑賞することに主体的に取り組もうとしている。 d: 「キャッツ」という作品の特徴を理解し、その雰囲気を感じ取りながら、作品全体に対する理解を深めながら主体的に鑑賞している。	観察 ワークシート

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現
c:技能 d:知識・理解

※ 年間指導計画（例）作成上の留意点

- ・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

平成31年度 芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅲ	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	「音楽Ⅲ 改訂版」 (教育出版)						
副教材等	The Basics of Music (教育芸術社)、その他自主教材						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- 「歌うこと」「楽器を演奏すること」「音楽を聴くこと」の3つの分野を年間通して学習します。
- 学習の到達度は、実技テストやワークシートで評価します。
- 音楽の学習は、何よりもまず「進んで取り組もう」という姿勢を持つことが大切です。熱心に取り組む、練習を重ねた演奏は、上手・下手を超えたところで聞く人の心を打ちます。「心に届く演奏」が出来たとき、演奏者の心にも深い充実感が生まれます。この充実感は、合唱や合奏で美しいハーモニーを体感できたときにも訪れます。「音楽をする喜び」とはこの充実感を感じることに他なりません。多くの皆さんにこの充実感を味わってほしいと思います。

2 学習の到達目標

幅広い音楽活動を通して音楽を愛好する心情を育むとともに、古今の名曲に触れる機会を多く作り、音楽文化についての理解を深める。
音楽的な感性を高めるとともに、合唱、器楽アンサンブルなどを通して互いの存在を意識しながら表現をしていく能力を身につける。

3 学習評価 (評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への 関心・意欲・態度	b:音楽表現の 創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	音楽や音楽文化に関心を持ち、歌唱、器楽創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについての表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身につけ、創造的に表している。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評 価 方 法	観察 ワークシート	観察 ワークシート	演奏の聴取	観察 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期	言葉と音楽①	【歌唱】 初恋(日本語) Ave Maria(ドイツ語) Lascia chio pianga(イタリア語)	○	○	○		a:異なる3つの原語で書かれた曲を歌いながら、その表現内容や言葉の特徴に関心を持ち、それぞれの持ち味を生かした表現を工夫しつつ取り組んでいる。 b:言葉と旋律の関わり合いを知覚し、それぞれのもつ特質を感じ取って音楽表現に生かしている。 c:それぞれの曲の特徴を総合的に理解し表現するために必要な発声の技法を身につけている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	ギターの名曲に挑戦	【器楽】 禁じられた遊び(ギターソロ)	○	○	○		a:楽曲の構成および、この曲が主題曲として使われた映画の内容にも関心を持ち、主体的に練習に取り組もうとしている。 b:メロディの流れを感じ取り、伴奏の効果も考えながら表現を工夫している。 c:三連符、セーハなどこの曲を表現するために必要な技術を身につけている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	キーボードに挑戦	【器楽】 スーパーカリフラジリスティックエクスピア リトーション(キーボード二重奏)	○	○	○		a:鍵盤楽器の奏法に関心を持ち、主体的に練習に取り組もうとしている。 b:キーボードで得られるさまざまな音色を使って、曲にふさわしい表現が出来るよう工夫している。 c:キーボードでメロディや和音を弾く技術を身につけている。:	観察 ワークシート 演奏の聴取
二学期	言葉と音楽②	【歌唱】 Hey Jude(ギター弾き語り)	○	○	○		a:英語のポピュラーソングの特徴に関心を持ち、表現意図を持って弾き語りの学習に主体的に取り組もうとしている。 b:楽曲を構成するさまざまな要素を知覚し、それらの働きによる世界観を感受しながらどのように歌うか工夫している。	観察 ワークシート 演奏の聴取

						c: ギターの伴奏の技能を身につけ、英語の発音や言葉の特徴などを総合的に理解して演奏している。	
日本の音風景〜秋〜	【鑑賞】 箏曲「秋風の曲」 能「松風」 長唄「秋の色種」	○				○ a: 日本の音楽と自然や風土との関わりや、日本の音楽の特質と美しさに関心を持って鑑賞の学習に取り組もうとしている。 d: 日本の楽器の持つ音色やリズムを知り、それらが生み出す独特の雰囲気を感じ取り、日本の伝統音楽に対する理解を深め、そのよさを味わって聴いている。	観察 ワークシート
リコーダーオーケストラに挑戦	【器楽】 エル・クンパンチェロ (ソプラノ、アルト、テナーリコーダーとキーボードによるアンサンブル)	○	○	○		a: 1, 2年次で学習したリコーダー演奏の総仕上げとなる曲であることを理解し、クラス全員で一曲を仕上げることに主体的に取り組もうとしている。 b: 各パートの特徴を理解し、自分が担当するパートの役割を把握して、体の表現につなげようとしている。 c: 細かいパッセージが出てくるなど、技術的に難しい部分もきちんと演奏できるよう努力している。	観察 ワークシート 演奏の聴取
物語と音楽	【鑑賞・歌唱】 オペラ「トゥーランドット」より Nessun dorma	○	○	○	○	a: オペラのアリアの表現内容に関心を持ち、表現意図を持って歌う学習に取り組んでいる。 b: イタリア・オペラ独特の雰囲気を感じ取り、物語の進行における音楽の効果を理解してどのように歌うか考えて取り組んでいる。 c: 物語の中におけるこの曲の演奏効果を知り、それにふさわしい表現をするために必要な発声、呼吸法などを身につけている。 d: 登場人物の声とオーケストラの関わりを知り、物語の進行における音楽の効果なども理解しながら聴いている。	観察 ワークシート 演奏の聴取

平成31年度 芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	「改訂版 ON! 1」 (音楽之友社)						
副教材等	ギター・テキスト、自主教材						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- 「歌うこと」「楽器を演奏すること」「音楽を聴くこと」の3つの分野を年間通して学習します。
- 学習の到達度は、実技テストやワークシートで評価します。
- 音楽の学習は、何よりもまず「進んで取り組もう」という姿勢を持つことが大切です。熱心に取り組む、練習を重ねた演奏は、上手・下手を超えたところで聞く人の心を打ちます。「心に届く演奏」が出来たとき、演奏者の心にも深い充実感が生まれます。この充実感は、合唱や合奏で美しいハーモニーを体感できたときにも訪れます。「音楽をする喜び」とはこの充実感を感じることに他なりません。多くの皆さんにこの充実感を味わってほしいと思います。

2 学習の到達目標

幅広い音楽活動を通して音楽を愛好する心情を育むとともに、古今の名曲に触れる機会を多く作り、音楽文化についての理解を深める。
音楽的な感性を高めるとともに、合唱、器楽アンサンブルなどを通して互いの存在を意識しながら表現をしていく能力を身につける。

3 学習評価 (評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への 関心・意欲・態度	b:音楽表現の 創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	音楽や音楽文化に関心を持ち、歌唱、器楽創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについての表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身につけ、創造的に表している。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評 価 方 法	観察 ワークシート	観察 ワークシート	演奏の聴取	観察 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期	声に出して歌おう	【歌唱】 「翼をください」 「花は咲く」 「少年時代」 「とびら開けて」 (斉唱・日本語)	○	○	○		a:歌う喜びを感じ、主体的に歌の学習に取り組もうとする。 b:リズム、メロディ、強弱などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、音楽表現を工夫している。 c:歌詞の内容と曲想を関わらせて表現するために必要な歌唱の技術を身につけている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	ギターを弾こう	【器楽】 ・チューニングの方法 ・弾き方の基礎 ・ハ長調の音階	○		○		a:ギターの音色に関心を持ち、基礎的な奏法を身に付けることに主体的に取り組もうとしている。 c:技術の基礎となるハ長調の音階を、ファースト・ポジションとi、mのアポヤンド奏法で弾ける技術を身に付ける。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	鑑賞のファースト・ステップ	【鑑賞(DVD鑑賞)】 バレエ「ボレロ」 (ジョルジュ・ドン、20世紀バレエ団、モーリス・ベジャール振り付け)	○			○	a:管弦楽で扱われる楽器の音色やリズムの特徴とその音楽的效果に関心をもって楽曲を聴こうとしている。 d:音楽と身体表現の関わり合いに関心を持ち、同時に優れた踊り手によって作り出される緊張感ある舞台の美しさを感じ取って鑑賞している。	観察 ワークシート
二学期	イタリア語の歌を歌おう	【歌唱】 「Caro mio ben」 「O sole mio」 (斉唱・イタリア語)	○	○	○		a:イタリア古典歌曲成立の歴史的・文化的背景に関心を持ち、歌う学習に積極的に取り組む。 b:リズム、旋律、強弱などを知覚し、それらの関わりが生み出す雰囲気を感じながら、表現を工夫している。 c:表現したいことを伝える歌唱の技法を身につけている。	観察 ワークシート 演奏の聴取

	合唱の響きを求めて	【歌唱】 「民衆の歌(混声四部)」 ～ミュージカル「レ・ミゼラブル」より	○	○	○	a:声を合わせる活動に関心を持ち、合唱の学習に主体的に取り組もうとしている。 b:旋律とハーモニーの関わりを知覚し、それらの働きを感受しながら音楽表現を工夫している。 c:歌詞の内容と曲想を関わらせて感じ取り、歌唱に必要な技能を身につけている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	ギターを弾こう	【器楽】 ・ハ長調のスリーコード ・「チョブスティック」(二重奏)	○		○	a:ギター演奏の新たな技術に関心を持ち、その習得と発展に主体的に取り組もうとしている。 c:C、G7、F(簡略形)のコードが弾けるようになり、メロディとコードによる伴奏の両方が弾けるようになる。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	西洋音楽の歴史を知ろう	【鑑賞】 ・グレゴリオ聖歌「ディエス・イレ」 ・「ブランデンブルク協奏曲第2番」(バッハ) ・「交響曲第9番『新世界から』」(ドヴォルジャーク)	○		○	a:西洋音楽の歴史に関心を持ち、時代による音楽の変化を感じ取って鑑賞している。 d:それぞれの時代による音楽のスタイルの違いを知覚し、その時代の持つ雰囲気を感じしながら、音楽の美しさを様々な角度から味わって聴いている。	観察 ワークシート
三学期	ヴォーカル・アンサンブルを楽しもう	【歌唱】 「島唄」(二重唱) 「オペラ座の怪人」(二重唱)	○	○	○	a:仲間と声を合わせる活動に関心を持ち、自分たちで表現を工夫することに主体的に取り組んでいる。 b:メロディの流れにのり、言葉の乗せ方を工夫し、曲想を歌詞の内容に関わらせて表現しようとしている。 c:少人数のアンサンブルが美しく響くよう、各パートのバランスを考えながら歌う技術を身につけている。	観察 ワークシート 演奏の聴取

一学期	美術基礎1	描写練習 「鉛筆デッサン・直方体」 色彩練習 「色相環・色の効果」	○	○	○		a:目で見たものを描くということに興味をもち、意欲的に取り組んでいる。 b:陰影による立体感や色彩の関係について学んだことを作品に生かしている。 c:作品を美しい仕上がりにするため、細密な描写や絵の具の使い方などを工夫している。	提出作品 取り組み度 美しさの目標 達成度
	デザイン基礎	「ピクトグラムをつくる」 視覚的にものごとを伝達するデザインについて学び、日常で使えるピクトグラムを作成する。	○	○	○	○	a:デザインによる視覚的な情報伝達について興味をもち、意欲的に取り組んでいる。 b:言語をこえて伝わるデザインについて考え、独自の発想を練っている。 c:色彩や造形など、見る人が美しく感じるようなデザインを工夫している。 d:言語をこえた情報伝達のよさや面白さについて考え、自分の意見をまとめられる。	提出作品 鑑賞シート 取り組み度 美しさ目標達成度
	描写	「遠近法を使って」 一点透視・二点透視のある風景を探し、鉛筆と水彩絵の具で描く。	○	○	○		a:透視図法について興味をもち、意欲的に取り組んでいる。 b:透視図法などの遠近法をよく理解し、その特徴や面白さが現れた風景を見つけている。 c:透視図法の特徴を生かして、作品を美しく仕上げている。	出作品 取り組み度 美しさ目標達成度
	立体造形	「石粉粘土のペーパーウエイト」 石粉粘土を成形してお気に入りの形のペーパーウエイトを制作する。	○	○	○		a:粘土による立体的な造形に興味をもち、意欲的に取り組んでいる。 b:思わず使いたくなるようなペーパーウエイトのデザインを独自に発想している。 c:石粉粘土の特徴を生かし、美しく丁寧に作品を仕上げている。	提出作品 取り組み度 美しさ目標達成度

二学期	美術基礎2	描写練習 「鉛筆デッサン・球体」	○	○	○		a: 立体を描くことに興味をもち、意欲的に取り組んでいる。 b: 陰影による立体感や質感の変化など、学んだことを作品に生かしている。 c: 鉛筆の様々な描写表現を生かし、美しく作品を仕上げている。	提出作品 取り組み度 美しさ目標達成度
	デザイン・立体造形	「ミニチュアでつくる理想の部屋」 バルサ木材を用いて、自分の理想の部屋をミニチュアで制作する。空間デザインの面白さについて学ぶ。	○	○	○	○	a: 部屋やインテリアなどの空間デザインに関心をもち、意欲的に取り組んでいる。 b: 暮らす人のイメージ、インテリアの役割などをよく考え、独自の発想を練っている。 c: 木材の特徴を生かし、美しく丁寧に作品を仕上げている。 d: 生活を彩る様々なインテリアのよさについて考え、自分の意見をまとめられる。	提出作品 目標・美しさ達成度 取り組み度 鑑賞シート
	工芸	「木版カレンダー作り」 木版画で翌年のカレンダーを制作する。 凸版画の仕組みをよく知り、版画の面白さや美しさを知る。	○	○	○		a: 木版画の表現に関心をもち、意欲的に取り組んでいる。 b: 木版画の様々な表現について考え、独自の発想を練っている。 c: 彫刻刀の表現をよく理解し、使い方を工夫して作品を美しく仕上げている。	提出作品 目標・美しさ達成度 取り組み度
	描写	「ゴールドスクラッチ」 スクラッチ紙をニードルで削り、細密な素描に挑戦する。黒地に白線で描く新鮮さを楽しむ。	○	○	○		a: 黒地に白線でものを描くことに興味をもち、意欲的に取り組んでいる。 b: 白線で光を描写する面白さや表現方法についてよく考えている。 c: 作品を美しく仕上げるため、ニードルの使い方を工夫し、細密に描写している。	提出作品 取り組み度 美しさ目標達成度

三学期	美術基礎3	描写練習 「鉛筆デッサン・人物」	○	○	○	<p>a: 人物を描くことに興味をもち、意欲的に取り組んでいる。</p> <p>b: 陰影による立体感や質感の変化など、学んだことを作品に生かしている。</p> <p>c: 鉛筆の様々な描写表現を生かし、美しく作品を仕上げている。</p>	提出作品 取り組み度 美しさ目標達成度
	立体造形	「アルミ線で針金アート」 アルミ素材を生かし、線の重なりによる造形的表現を学ぶ。	○	○	○	<p>a: アルミ線による立体造形に興味をもち、意欲的に取り組んでいる。</p> <p>b: 立体的な構造を考えながら、アルミ線をどのように組み立てるか、独自に発想を練っている。</p> <p>c: 巻く、ねじるなど、アルミ線の使い方を工夫し、作品を美しく仕上げている。</p>	提出作品 目標・美しさ達成度 取り組み度
	デザイン	「目を引くパッケージデザイン」 菓子や飲み物の新しいパッケージデザインを考える。	○	○	○	<p>a: 商品パッケージのデザインについて興味をもち、意欲的に取り組んでいる。</p> <p>b: 売れるデザインについて考えながら、色彩や構図など独自に発想を練っている。</p> <p>c: 着彩のときに色彩や筆の使い方を工夫し、作品を美しく仕上げている。</p>	提出作品 目標・美しさ達成度 取り組み度

一学期	美術基礎4	描写練習 「静物デッサン」 「絵の具の立体描写」 美術 I での学習をもとに、さらに高度な描写技法を学ぶ。	○	○	○		a:目で見たものを描くということに興味をもち、自主的に取り組んでいる。 b:陰影や色みによる立体感の表現について学んだことを作品に生かしている。 c:作品を美しい仕上がりにするため、細密な描写や絵の具の使い方を工夫している。	提出作品 取り組み度 美しさの目標 達成度
	デザイン	「ポスター制作」 メッセージを効果的に伝えるデザインについて学び、設定したテーマでポスターを制作する。	○	○	○		a:ポスターデザインによる視覚的な情報伝達について興味をもち、意欲的に取り組んでいる。 b:言語をこえて伝わるデザインについて考え、独自のアイデアでポスター制作に取り組んでいる。 c:色彩や造形など、見る人が美しく感じるようなポスターデザインを工夫している。	提出作品 取り組み度 美しさ目標達成度
	構成・デザイン	「プッシュスタンド」 粘着シートにカラーフィルムを貼り付ける簡易スタンドグラスを制作。線と色の構成や美しさについて知る。	○	○	○		a:スタンドグラスの表現に関心をもち、自主的に取り組んでいる。 b:スタンドグラスの仕上げを見通し、色と線の構成や制作手順を計画的に練っている。 c:細密な表現を用いたり、色の組み合わせを工夫して、美しく仕上げている。	提出作品 取り組み度 美しさ目標達成度
	鑑賞・描写	「国宝の扇子をつくる」 国宝「鳥獣戯画」を白扇子に模写する。白描画に挑戦することで、毛筆の面白さや美しさを追求する。	○	○	○	○	a:古典作品を学習することに関心をもち、模写制作に自主的に取り組んでいる。 b:「鳥獣戯画」の白描画表現の特徴や面白さについて自ら考えている。 c:「鳥獣戯画」の白描画表現から学び取り、毛筆の使い方を工夫している。 d:「鳥獣戯画」のよさや面白さについて考え、自分の作品づくりに生かそうとしている。	提出作品 鑑賞カード 取り組み度 美しさ目標達成度

二学期	工芸	「ドライポイント」 プラスチック板とニードルによるドライポイントで、繊細な版画を制作する。 凹版画の仕組みをよく知り、版画の面白さや美しさを知る。	○	○	○		a:ドライポイントの表現に関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。 b:ドライポイントの様々な表現について考え、独自の発想を練っている。 c:ニードルの使い方を工夫して、作品を美しく仕上げている。	提出作品 取り組み度 美しさ目標達成度
	描写	「白の描画～光を描く～」 黒画用紙に白絵具だけでガラスを描写する。光を描く技法を知る。	○	○	○		a:白色によって光を描写することに関心を持ち、自主的に取り組んでいる。 b:白線で光を描写する面白さや表現方法についてよく考えている。 c:作品を美しく仕上げるため、様々な絵の具の表現を積極的に用い、描写している。	提出作品 鑑賞シート 取り組み度 美しさ目標達成度
	立体造形	「動きを切り取る彫刻」 人や動物の動きをとらえ、心材と粘土で塑像を制作する。	○	○	○	○	a:彫刻による動きの表現に関心を持ち、自主的に取り組んでいる。 b:彫刻の面白さについて考え、想像力を働かせたり、独自のアイデアで作品に取り組んでいる。 c:粘土の素材や塑像表現の特徴をよくとらえ、作品づくりを工夫している。 d:著名な彫刻について、その美しさや面白さについて考え、自分の作品に生かそうとしている。	提出作品 鑑賞シート 目標・美しさ達成度 取り組み度
三学期	工芸	「木彫りのフォーク・スプーン」 木材のよさについて知り、木彫りでフォークやスプーンを制作する。	○	○	○		a:木材で日用品をつくることに興味を持ち、自主的に取り組んでいる。 b:日用品の機能や美しさについて考え、独自のアイデアで作品に取り組んでいる。 c:彫刻刀ややすりなど、多様な用具や技法を積極的に使い、工夫して作品に取り組んでいる。	提出作品 取り組み度 美しさ目標達成度

	デザイン	<p>「音楽を絵で表して」 自分の好きな音楽の世界観や感情、歌詞の内容などを、一枚の絵として視覚的に表現する。</p>	○	○	○	○	<p>a:聴覚表現を視覚表現として表すことに関心を持ち、自主的に取り組んでいる。</p> <p>b:音楽を絵で表す面白さについて考え、想像力を働かせたり、独自のアイデアで作品に取り組んでいる。</p> <p>c:水彩やコラージュ技法など、素材や技法を工夫している。</p> <p>d:制作後、互いの作品を鑑賞しあう中で、積極的に他者の表現の良いところを見つけようとしている。</p>	<p>提出作品 鑑賞シート 目標・美しさ達成度 取り組み度</p>
--	------	---	---	---	---	---	---	---

一学期	描写	「風景を描く」 水彩絵の具を使い、校内の風景を描く。構図の工夫や美しさについて学ぶ。	○	○	○	<p>a:風景を描くことに興味をもち、主体的に描こうとしている。</p> <p>b:風景画の美しさについて深く考え、構図などをよく考えて作品に取り組んでいる。</p> <p>c:自分が美しいと感じた風景を描くために、水彩画の技法を効果的に取り入れ、工夫している。</p>	提出作品 取り組み度 美しさ目標 達成度
	工芸	「オリジナルTシャツづくり」 簡易シルクスクリーン（サンスクリーン）を用いてオリジナルデザインのTシャツを作り、孔版画の仕組みについて理解する。	○	○	○	<p>a:シルクスクリーンの表現に関心をもち、主体的に取り組もうとしている。</p> <p>b:シルクスクリーンの特徴についてよく学び、デザインなどをよく考えて作品に取り組んでいる。</p> <p>c:自分の理想のデザインを形にするために、制作過程をよく理解して表現を工夫している。</p>	提出作品 取り組み度 美しさ目標 達成度
	描写	「油絵にチャレンジ」 油彩画の特徴や表現の面白さを知り、静物画に挑戦する。	○	○	○	○ <p>a:著名な美術作品の美しさを味わい、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。</p> <p>b: 模写の面白さや意味について深く考え、作品に取り組んでいる。</p> <p>c:対象作品を美しく再現するために、多様な用具や技法を効果的に取り入れ、作品づくりを工夫している。</p> <p>d: 著名な美術作品の美しさや時代背景に興味をもち、作者の感情について考えている。</p>	提出作品 取り組み度 美しさ目標 達成度
二学期	デザイン	「絵馬の制作」 絵馬の成り立ちについて知り、自分の願いをこめたオリジナル絵馬をデザインする。	○	○	○	<p>a:絵馬のデザインに関心をもち、主体的に取り組んでいる。</p> <p>b:絵馬の由来や意味について学び、デザインをよく考えて作品に取り組んでいる。</p> <p>c:絵馬を美しく仕上げるために、絵の具など描画材の使い方を工夫している。</p>	提出作品 取り組み度 美しさ目標 達成度

	デザイン・工芸	「砂絵で描く色と形」 粘着シートに色砂を貼り付ける砂絵に挑戦する。色砂同士の混色やグラデーションも表現する。	○	○	○	a:砂絵の表現に関心をもち、主体的に取り組もうとしている。 b:砂絵の美しさについて深く考え、構図や色彩をよく考えて作品に取り組んでいる。 c:自分の表したい砂絵のために、色砂の混色やグラデーション技法を効果的に取り入れ、工夫している。	提出作品 取り組み度 美しさ目標 達成度
	デザイン	「シンメトリーな切り絵」 2色の色画用紙を用いて、線対称な切り絵を制作する。	○	○	○	a:対称な美しさに関心をもち、主体的に表現や創造活動に取り組もうとする。 b:対称な表現の面白さを考え、想像力を働かせたり、独自のアイデアで作品に取り組んでいる。 c:自分のイメージを美しく形にするために、色画用紙の組み合わせや構図を工夫している。	提出作品 取り組み度 美しさ目標 達成度
三学期	工芸	「木彫りのはしづくり」 日ごろ使うはしを自ら制作することで、日常生活における美術の意味とあり方について学ぶ。	○	○	○	a:日用品の美しさや面白さに関心をもち、主体的に創造活動に取り組もうとする。 b:はしの形の面白さを考え、独自のアイデアで作品に取り組んでいる。 c:自分のイメージを美しく形にするために、電動のこぎりややすりなどの使い方を工夫している。	提出作品 取り組み度 美しさ目標 達成度

一学期	美術基礎1	描写練習 「鉛筆デッサン・直方体」 色彩練習 「色相環・色の効果」	○	○	○		a:目で見たものを描くということに興味をもち、意欲的に取り組んでいる。 b:陰影による立体感や色彩の関係について学んだことを作品に生かしている。 c:作品を美しい仕上がりにするため、細密な描写や絵の具の使い方などを工夫している。	提出作品 取り組み度 美しさの目標 達成度
	デザイン基礎	「ピクトグラムをつくる」 視覚的にものごとを伝達するデザインについて学び、日常で使えるピクトグラムを作成する。	○	○	○	○	a:デザインによる視覚的な情報伝達について興味をもち、意欲的に取り組んでいる。 b:言語をこえて伝わるデザインについて考え、独自の発想を練っている。 c:色彩や造形など、見る人が美しく感じるようなデザインを工夫している。 d:言語をこえた情報伝達のよさや面白さについて考え、自分の意見をまとめられる。	提出作品 鑑賞シート 取り組み度 美しさ目標達成度
	描写	「遠近法を使って」 一点透視・二点透視のある風景を探し、鉛筆と水彩絵の具で描く。	○	○	○		a:透視図法について興味をもち、意欲的に取り組んでいる。 b:透視図法などの遠近法をよく理解し、その特徴や面白さが現れた風景を見つけている。 c:透視図法の特徴を生かして、作品を美しく仕上げている。	出作品 取り組み度 美しさ目標達成度
	立体造形	「石粉粘土のペーパーウエイト」 石粉粘土を成形してお気に入りの形のペーパーウエイトを制作する。	○	○	○		a:粘土による立体的な造形に興味をもち、意欲的に取り組んでいる。 b:思わず使いたくなるようなペーパーウエイトのデザインを独自に発想している。 c:石粉粘土の特徴を生かし、美しく丁寧に作品を仕上げている。	提出作品 取り組み度 美しさ目標達成度

二学期	美術基礎2	描写練習 「鉛筆デッサン・球体」	○	○	○		a: 立体を描くことに興味をもち、意欲的に取り組んでいる。 b: 陰影による立体感や質感の変化など、学んだことを作品に生かしている。 c: 鉛筆の様々な描写表現を生かし、美しく作品を仕上げている。	提出作品 取り組み度 美しさ目標達成度
	デザイン・立体造形	「ミニチュアでつくる理想の部屋」 バルサ木材を用いて、自分の理想の部屋をミニチュアで制作する。空間デザインの面白さについて学ぶ。	○	○	○	○	a: 部屋やインテリアなどの空間デザインに関心をもち、意欲的に取り組んでいる。 b: 暮らす人のイメージ、インテリアの役割などをよく考え、独自の発想を練っている。 c: 木材の特徴を生かし、美しく丁寧に作品を仕上げている。 d: 生活を彩る様々なインテリアのよさについて考え、自分の意見をまとめられる。	提出作品 目標・美しさ達成度 取り組み度 鑑賞シート
	工芸	「木版カレンダー作り」 木版画で翌年のカレンダーを制作する。 凸版画の仕組みをよく知り、版画の面白さや美しさを知る。	○	○	○		a: 木版画の表現に関心をもち、意欲的に取り組んでいる。 b: 木版画の様々な表現について考え、独自の発想を練っている。 c: 彫刻刀の表現をよく理解し、使い方を工夫して作品を美しく仕上げている。	提出作品 目標・美しさ達成度 取り組み度
	描写	「ゴールドスクラッチ」 スクラッチ紙をニードルで削り、細密な素描に挑戦する。黒地に白線で描く新鮮さを楽しむ。	○	○	○		a: 黒地に白線でものを描くことに興味をもち、意欲的に取り組んでいる。 b: 白線で光を描写する面白さや表現方法についてよく考えている。 c: 作品を美しく仕上げるため、ニードルの使い方を工夫し、細密に描写している。	提出作品 取り組み度 美しさ目標達成度

三学期	美術基礎3	描写練習 「鉛筆デッサン・人物」	○	○	○	<p>a: 人物を描くことに関心をもち、意欲的に取り組んでいる。</p> <p>b: 陰影による立体感や質感の変化など、学んだことを作品に生かしている。</p> <p>c: 鉛筆の様々な描写表現を生かし、美しく作品を仕上げている。</p>	提出作品 取り組み度 美しさ目標達成度
	立体造形	「アルミ線で針金アート」 アルミ素材を生かし、線の重なりによる造形的表現を学ぶ。	○	○	○	<p>a: アルミ線による立体造形に興味をもち、意欲的に取り組んでいる。</p> <p>b: 立体的な構造を考えながら、アルミ線をどのように組み立てるか、独自に発想を練っている。</p> <p>c: 巻く、ねじるなど、アルミ線の使い方を工夫し、作品を美しく仕上げている。</p>	提出作品 目標・美しさ達成度 取り組み度
	デザイン	「音楽を絵で表して」 自分の好きな音楽の世界観や感情、歌詞の内容などを、一枚の絵として視覚的に表現する。	○	○	○	○	<p>a: 聴覚表現を視覚表現として表すことに関心をもち、自主的に取り組んでいる。</p> <p>b: 音楽を絵で表す面白さについて考え、想像力を働かせたり、独自のアイデアで作品に取り組んでいる。</p> <p>c: 水彩やコラージュ技法など、素材や技法を工夫している。</p> <p>d: 制作後、互いの作品を鑑賞しあう中で、積極的に他者の表現の良いところを見つけようとしている。</p>

平成 31 年度 芸術科

教科	芸術	科目	書道 I	単位数	2 単位	年次	1 年次
使用教科書	「書道 I」 (東京書籍)						
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・書写から書道への発展を用具用材の違いによる変化を学ぶ。
- ・楷・行・草・隸書・篆の五書体を、古典を通じ時代順に臨書を学ぶ。
- ・創意工夫で自分らしい文字表現の作品作り。

2 学習の到達目標

- ・「書」を自己表現として関心を持たせる。
- ・毛筆の特性や技法を身に付け、線質と墨・紙・筆との関係を持たせる。
- ・書の良さや美しさを感じ取り、創造的な表現を工夫し、感性を豊かにする。

3 学習評価 (評価規準と評価方法)

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	書の創造的活動のよろこびを味わい、書の伝統と文化に関心を持って、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技法を身に付け表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評 価 方 法	観察 学習プリント	観察 レポート 学習プリント 提出作品	観察 レポート 学習プリント 提出作品	観察 レポート 学習プリント 提出作品

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

月	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
四	書体の変遷	<ul style="list-style-type: none"> ・五書体の説明 ・自分の名前調べ(各書体) 	○	○	○	○	a: 名前の各書体を調べ、五書体の違いに関心を持つことができる。 b: 五書体を理解できる。 c: 小筆の弾力感覚を身に付ける。 d: 名前の五書体を理解できる。	観察 学習プリント
五	篆書の学習	<ul style="list-style-type: none"> ・篆書の特徴 ・泰山刻石の臨書 ・金文による一文字創作 	○	○	○	○	a: 篆書に関心・興味を持たせ、歴史的な位置づけを理解できる。 b: 泰山刻石の臨書を通じ、用筆、運筆を習得できる。 c: 金文の一文字を創作できる。 d: 各作品を鑑賞し合い、書美に対する感性を身に付ける。	観察 学習プリント 提出作品
六	隷書の学習	<ul style="list-style-type: none"> ・隷書の特徴 ・礼器碑の臨書 ・篆・隷書のいずれかを選び、四文字熟語を半切二分の一に創作 	○	○	○	○	a: 隷書に関心・興味を持たせ、歴史的な位置づけを理解できる。 b: 礼器碑の臨書を通じ、用筆・運筆を修得できる。 c: 四文字熟語を作品に仕上げることができる。 d: 各作品を鑑賞し合い、書美に対する感性を身に付ける。	観察 学習プリント 提出作品
七	篆刻の学習	姓名印を刻す	○	○	○	○	a: 印の歴史と用途に応じた印の種類を理解できる。 b: 印刀の使用方法を修得できる。 c: 姓名印を刻すことができる。 d: 作品に押印するセンスを身に付ける。	観察 学習プリント
九	草書の学習	<ul style="list-style-type: none"> ・草書の成立と特徴 ・書譜・十七帖の臨書 	○	○	○	○	a: 草書に関心・興味を持たせ、歴史的な位置づけを理解できる。 b: 書譜・十七帖の臨書を通じ、用筆・運筆を修得できる。 c: 2つの古典から1つを選び、半切二分の一に臨書できる。 d: 各作品を鑑賞し合い、書美に対する感性を身に付ける。	観察 学習プリント 提出作品

平成31年度 芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	「書道Ⅱ」（東京書籍）						
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・書道Ⅰで学んだ古典から1つ選び、半切作品を軸に仕上げる。
- ・仮名の基本・古典の臨書を学ぶ。
- ・創意工夫で自分らしい文字表現の作品作り。（未定）

2 学習の到達目標

漢字半切作品、仮名半紙作品を軸に仕上げ、書の美への関心を高める。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	書の創造的活動のよろこびを味わい、書の伝統と文化に関心をもち、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技法を身に付け表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評 価 方 法	観察 学習プリント	観察 レポート 学習プリント 提出作品	観察 レポート 学習プリント 提出作品	観察 レポート 学習プリント 提出作品

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにあわせて評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

月	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
四・五・六	半切作品の学習	<ul style="list-style-type: none"> 書体を選び、古典を臨書。 軸作品を仕上げる 	○	○	○	○	a:五書体の歴史的位置づけを理解できる。 b:各自選んだ古典を習得できる。 c:半切に古典を臨書できる。 d:各作品を鑑賞し合い、書美に対する感性を身に付ける。	観察 学習プリント レポート 提出作品
九・十	仮名の学習	<ul style="list-style-type: none"> 仮名の成立と特徴 	○	○	○	○	a:仮名に関心・興味を持たせ、歴史的な位置づけを理解できる。 b:仮名の基本を修得できる。 c:変体仮名を理解できる。 d:仮名の美しさを理解し、身に付ける。	観察 学習プリント 提出作品
十一	仮名の臨書	<ul style="list-style-type: none"> 蓬萊切を臨書 高野切1-2-3種を臨書 	○	○	○	○	a:仮名に関心・興味を持たせ、歴史的な位置づけを理解できる。 b:蓬萊切・高野切を通じ、用筆・運筆を修得できる。 c:2つの古典から1つ選び、料紙に臨書できる。 d:各作品を鑑賞し合い、書美に対する感性を身に付ける。	観察 学習プリント レポート 提出作品
十二	作品内容未定	<ul style="list-style-type: none"> 五書体より1文字を選び創作 	○	○	○	○	a:文字を創作するセンスを身に付ける。 b:五書体の創意工夫ができる。 c:自分表現の文字を創作できる。 d:各作品を鑑賞し合い、書美に対する感性を身に付ける。	
十二・一・二	仮名作品の完成	<ul style="list-style-type: none"> 百人一首を創作し、軸に完成 	○	○	○	○	a:変体仮名への関心・興味を持たせ、歴史的な位置づけを理解できる。 b:百人一首を創作するにあたり、変体仮名を工夫できる。 c:料紙に創作ができる。 d:各作品を鑑賞し合い、書美に対する感性を身に付ける。	

※ 表中の観点について a:書への関心・意欲・態度

b:書表現の構想と工夫

c:創造的な書表現の技能

d:鑑賞の能力

※ 年間指導計画（例）作成上の留意点

- 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。